

おむすび通貨 一般社団法人 物々交換局

調査団体名	: おむすび通貨 一般社団法人 物々交換局	団体代表者名	: 吉田 大
設立年	: 2010(平成22)年	対応してくれた人の名前	: 吉田 大
団体URL	: http://www.f-money.com/	調査員	: 沖 章枝、松井賢子、長澤壮平
活動拠点	: 愛知県豊田市足助町	レポート作成者	: 長澤壮平
取材日	: 2013年11月21日		

活動内容

おむすび通貨の単位は、おむすび1つ程度のお米をあらわす「むすび」。1むすびは50円で、10むすび券もある地域限定のお金。

おむすび通貨は提携店で使え、有効期間は6カ月。有効期間を終えると、提携店は集まったおむすび通貨を地元農家がつくったお米と交換する。農家はそこで得たおむすび通貨を、事務局で現金と交換する。

地域のお米をおむすび通貨に換え、6カ月経つとまた地域のお米に換えられて地域の食べ物になるという、一連の流れをつくりだす。おむすび通貨という地域通貨を循環させることで、お米の地産地消を促すとともに人々のつながりをつくりだす。

お米がその土地の恵みとして生まれ、その土地で食べられるとともに、人々の温かい交換のつながりをつくろうという取り組み。

消費者がおむすび通貨を手に入れるには、イベントの『こども商店街』の際に購入、提携店での購入、物々交換局の事業への参加などの方法がある。

大きなイベントになっている『こども商店街』は、子どもが自ら店を出したり、警察官や放送局などさまざまな職業に就くことで、仮想的な商店街を開き、地域のつながりや、子どもの社会勉強を促す取り組みとなっている。

キャッチフレーズ

地域のお金が人のつながりをつくる

会のモットー(何を大切にしているか)

今、私たちは、あらゆるものの価値を価格で考えている。そのことで、ものに含まれているいろいろな人間的な価値が見過ごされてしまう。その合理主義みたいなものが、思いやりを失わせ、人のつながりを切断してしまっている。おむすび通貨の取り組みで、人がものを交換するときの温かさや思いのつながりをつくっていききたい。

あくまで地域の人自身の取り組みであって、おむすび通貨はその道具にすぎない。コミュニティーにはいろいろな人がいる。弱い人がいて、強い人がいて、わがままな人がいて、やさしい人がいて、むかつくやつがいて、それがコミュニティー。その中での助け合い、支え合いみたいなものを、一緒にゆっくりと合意形成をしていく。

設立から現在に至るまで変化したこと

最初は農家支援というところを全面に押し出して、無農薬の米を扱っていた。応援してくれる人もそういうことに興味ある人たちで、活動の規模が小さかった。しかし、環境運動やパフォーマンスではなくて、社会の仕組みが作りたかった。無農薬や自然農だけでは、本当にやりたいことができない。そこで、減農薬でもいいとしたり、提携店も、大企業は参入できないがパチンコ屋でもいいですよとした。徐々にかたちができるにつれて、本来目指していた形にシフトできてきた。環境運動とか啓発活動というよりも、まさに関わっている人たち自身の取り組みで、おむすび通貨はその道具になっている。

連携している団体・専門家・自治体など

豊田市の商工会議所青年部。豊田市内で150くらいの提携店を集めてくれた。

『とよたこども商店街』は商工会議所青年部が主催。私たちはあくまで企画の支援をやっている。

現在直面している課題

補完通貨の難しさは、一気にブレイクさせなくてはいけないところ。正直、提携店が500ぐらいにならないと貨幣としては機能しない。そこまで短期間でどうやってもっていくかというところ。今は上り調子でいる。

今後やってみたいこと

将来的には、紙幣の形態と電子マネーとの複合の形態にするつもり。その電子マネーの決済システムを数年以内に立ち上げようとしている。たぶん3年くらいかかると思うが、そうなったときは提携店が1,000くらいになっていて、そのときに融資事業を始めようと思っている。講のように、地域の身近な信頼が基盤になるもので、そこまでいけばやりたいかたちが出来上がると思う。

チームオリジナルの質問

<質問内容>これまでに実感できた成果は？

<答え>貨幣として本当に機能してるかといえばまだ難しいが、まずはイベントなどで子どもたちや親御さんがとても喜んだとか、提携店の人がおむすび通貨を持ってきた人と会話が弾んでうれしいとか、そういうことがよく聞かれるのがうれしい。

その他、伝えたいこと

社会の仕組みは自分たちでつくれるということ。世の中の仕組みで悪いことがあると文句ばかり言う人がいるけれど、自分たちでつくるんですよと言いたい。お金でいろいろな人が苦しんだり、いろいろな問題が生じているが、そのためのお金も自分たちでつくり、変えることができるということ。

写真



おむすび通貨



こども夢の商店街(名古屋市円頓寺商店街にて)